

2016 年度日本居住福祉学会熊本地震現地研究集会

熊本地震 復興への道

—地域の生活を支える居住福祉政策と実践—

震度7を史上初めて2度観測した熊本地震の発生から半年が過ぎた。その間にも、大型台風、火山噴火など災害が熊本地方を襲った。避難に伴う心身の不調などで亡くなる災害関連死も懸念される。被災者の住宅や生活、地域再建の道はなお険しい。住民主体の被災者支援のあり方を居住福祉の視点から探る。

開催日 : 2016年12月3日(土)・4日(日)

開催場所 : 熊本学園大学 (〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5番1号)

参加費 : 無料

【12月3日】熊本学園大学 11号館 1141教室

13:30 開会

14:00-16:20 現状報告会 「熊本地震の現状報告と被災地の取り組み」

コーディネーター兼報告者: 川崎孝明氏 (尚絅大学短期大学部)

報告者: 熊本市社会福祉協議会 上田浩之氏

NPO法人 にしはら たんぼぼハウス 施設長 上村加代子氏

社会福祉法人リデルライトホーム ノットホーム 施設長 吉井壮馬氏

16:30-17:30 基調講演

「熊本地震における社会福祉施設の福祉避難所の役割と運営」

社会福祉法人リデルライトホーム 理事長 小笠原嘉祐氏

【12月4日】熊本学園大学 11号館 1141教室

午前中 被災地現地視察

14:00-17:00 学会シンポジウム「災害と居住福祉」

シンポジスト 1. 和田 要氏 (熊本学園大学)

2. 山地久美子氏 (大阪府立大学客員研究員)

3. 大島隆代氏 (浦和大学)

4. 調整中

座長 野口定久 (日本福祉大学)

コメンテーター: 仁科伸子氏 (熊本学園大学)

【参加申し込み・問い合わせ】

野村恭代 (Nomura Yasuyo) 日本居住福祉学会事務局長 大阪市立大学大学院生活科学研究科

■nomura@life.osaka-cu.ac.jp

※参加の旨メールでお知らせください。(11月25日締切)

[アクセスマップ]



[交通アクセス]

JR鹿児島本線 熊本駅より

【車利用】約 15 分

【熊本都市バス利用】3 のりば(白川口) 約 20 分

◎熊学ライナー熊本駅-熊学ノンストップ バス停「学園大(キャンパス内)」下車

◎第一環状線(大学病院回り) バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分

◎中央環状線(大学病院回り) バス停「学園大前」下車すぐ

熊本空港より

【車利用】約 30 分

【空港バス利用】約 30 分

◎バス停「味噌天神」下車 徒歩約 15 分